

接着修復の臨床

ここ 10-20 年の間における接着歯学の進歩は素晴らしく、近年の歯科修復治療に対して大きな影響を与えてきました。しかし、それでも未だ“完璧”な接着システムというものは存在しておらず、口腔内という過酷な環境の中で接着修復処置を長期的な成功に導くためには、「どの材料を使うか？」よりも、「材料をどう扱うか？」ということがとても重要であると考えています。

今回は、エビデンス、テクニック、そしてコストパフォーマンスという 3つの観点から、接着修復について解説させていただきます。

明日からの臨床に直接的に役立つような情報をできるだけシェアさせて頂こうと思っておりますので宜しくお願いします。

鷺野 崇

2004 年 岡山大学歯学部卒業

2011 年 ルーベン大学留学（ベルギー王国フランダース政府奨学生）

2012 年 石川歯科勤務（浜松市）

2019 年 わしの歯科クリニック開院（名古屋市）

2020 年 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学 社会人大学院、現在に至る。

<所属>

日本接着歯学会

日本歯内療法学会

Tokai Next Generation

CE セミナーOB 会